

平成29年第4回定例会の開会にあたり、教育行政報告を申し上げます。

1 小中一貫教育の推進について

まず始めに、小中一貫教育の推進についてであります。10月6日に第2回小中一貫教育推進会議を開催し、各中学校区の進捗状況と今後の予定を確認したところであります。全ての中学校区において、めざす子ども像の共有、キャリア教育「大志学」の全体計画や教科系統表の策定、乗り入れ授業の推進など、円滑な実施に向けて準備をしているところであります。

各中学校区におきましては、8月から2月にかけて、教育を語る会を開催し、平成30年度の開始に向け、保護者や地域の皆様に小中一貫教育の具体的取組について説明し、意見をいただく機会を設ける予定としているところであります。

また、10月にはふれあい学習センター、11月には市役所5階市民ギャラリーとエルフィンパークにおきまして、小中一貫教育パネル展を「北海道教育の日」の協賛事業として開催し、各中学校区の取組を中心に紹介したところであります。

11月15日には、小中一貫教育に関するリーフレットを広報北広島への折込などにより全戸に配布したところであり、今後も様々な機会を捉えて、更なる理解を図ってまいりたいと考えているところであります。

2 授業改善推進チーム活用事業について

次に、授業改善推進チーム活用事業についてであります。北海道教育委員会の指定事業として、平成29年度より西の里小学校、北の台小学校、大曲東小学校において各校に1名ずつ授業改善推進教員を配置しているところであります。

3名の授業改善推進教員でチームを組み、3つの学校に1週間単位で勤務をし、全ての学級担任とチーム・ティーチングによる授業実践に取り組むなど、学力向上に向けた授業のあり方について協議や助言を行っており、学校全体の授業改善に寄与しているものと考えております。

今後も、授業改善推進教員の活動が円滑に進められるよう支援し、子どもたちの学びがより確かなものとなるよう学習環境づくりに努めてまいりたいと考えております。

3 カナダ・サスカトゥーン市への派遣交流事業について

次に、カナダ・サスカトゥーン市への派遣交流事業についてであります。国際感覚を持つ人材の育成を目的として、10月5日から13日までの9日間の行程で高校生を派遣しました。

派遣団員は、サスカトゥーン市内の学校での交流やホームステイを通して、多くの方と出会い、友情を育むとともに、異文化に触れる機会を通して、人生における貴重な経験を得たものと考えております。

また、11月11日には報告会を開催し、派遣事業での学びを市民の皆様へ報告したところであります。

以上申し上げ、教育行政報告といたします。